

お母さん、  
あなたに逢えて  
よかったです



魂が号泣する感動の104分

# うまれる

ナレーション つるの剛士

企画・監督・撮影：兼田トモ

主題歌：「オメデトウ feat.KOHEI JAPAN」 つるの剛士 (PONY CANYON INC.)



感動の上映会、全国で開催中!

## 映画「うまれる」上映会

2017年8月5日(土) ~第1回~

10:00~11:50 上映会

12:00~13:00 ほっこりカフェ

2017年8月7日(月) ~第2回~

13:00~14:50 上映会

15:00~16:00 ほっこりカフェ

開催場所：パルシステム東京新宿本部 2階会議室（地下鉄「東新宿駅」下車）

住所：東京都新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿

上映会料金：500円（全席自由席）おつりのないようにおもち下さい。

※会議室にての上映となりますので、場所によっては見えにくいお席もあります。予めご了承ください。

ほっこりカフェは茶菓付き映画参加者交流会です（当日参加OK・参加費100円）

### ~ほっこりカフェについて~

生きていることの意味、命の大切さ、母に対しての想い、子どもへの愛・・・

映画鑑賞後、皆さんが感じること、心を動かされることはそれぞれだと思います。

大事なことを心で感じる機会が少ない現代、今感じた想いをみんなでおしゃべりしませんか。当日の参加も受け付けます。



~申込み・問い合わせ先~

一般社団法人くらしサポート・ウィズ

事務局 03-6205-6719

（電話受付平日9時~17時）

メール [web9@kurashidial.or.jp](mailto:web9@kurashidial.or.jp)

（メール申込の方は、名前・人数・電話番号をお知らせください）

参加締め切りは、7月31日(月) 16時まで

子宮出身の  
すべての人たちへ贈る  
感動のドキュメント



両親の不仲、虐待の経験から  
親になることに戸惑う夫婦。  
出産予定日に我が子を失った夫婦。  
子どもを望んだものの  
授けられない人生を受け入れた夫婦。  
完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。  
全てが「うまれる」  
ストーリーです。



この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーなどではなく、  
出産を切り口にした『親子の物語』なのだと思う。  
親に、深く、深く、感謝した。

### 乙武洋匡

(作家)

私に関わってくれるすべての人に  
「本当に本当にありがとう」と言いたくなりました。  
また政治家という立場からも  
何ができるか考えさせられる映画でした。

### 小淵優子

(衆議院議員 元少子化対策・男女共同参画担当大臣)

生きていろいろ腹立つことあるけど、結局、うまれたから  
愛する人と出会えたんだ。悲しくない涙がたくさん出ました。

### 鈴木おさむ

(TBSドラマ『生まれる。』脚本家)

私は子供を産まずに45歳になりました。  
でも、それは欠陥ではないよ、と言ってもらえた気がしました。  
そう思ったら涙が止まりませんでした。

### さかもと未明

(漫画家・タレント)

“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、  
この映画を作ったのかもしれない”

自分は愛されているのだろうか… 自分は本当にこの両親の子ども  
なんだろうか… 物心ついた時から、僕はそう思っていました。  
4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で産まれてきたことから、  
両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らず  
に育った気がしていました。

自分はなぜうまれてきたのか、何のために生きているのか… 自分  
の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く  
夢を描けませんでした。

そんなある日。講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれて  
くる」という胎内記憶の話の話を聞きました。

自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないと  
ずっと思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、  
心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任  
があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは… 長らく抱いて  
いた否定的な感情が少しずつ消えていくのを感じました。

「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自身、  
両親との関係を築き直せるかもしれない……。

それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦を取材・撮影さ  
せていただきましたが、「うまれる」ことを知れば知るほど、そ  
の奥深さと神秘に僕は圧倒されました。

産まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では  
分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか？  
全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたらう  
れしいです。

企画・監督・撮影 豪田トモ

あなたの町で映画「うまれる」を上映しませんか？

自主上映会サービスの詳細 & お申込は公式HPより



# うまれる

ナレーション：つるの剛士 企画・監督・撮影：豪田トモ  
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー  
©2010「うまれる」パートナーズLLP  
2010/日本/カラー 介0-35mm/104分/ビスタサイズ/DTS STEREO  
www.umareru.jp



命のドラマが書籍になりました。

「うまれる かけがえのない、あなたへ」

豪田トモ著 PHP 研究所 1,470円(税別)

共催：(一社)くらしサポート・ウィズ ワークスコープ NPO法人ゆったりーの  
後援：生活協同組合パルシステム東京